



ベーやん

クラシックの会場でねえ。こうやって使えるってのは、管弦楽団とか、すごくそのへんから。。歌の世界もポップスとかそういうだけでなく、みんなが参加できれば。。

いい会場ですよねえ。感動しました。

ちんぺい

すごいですよね。

市川さん

会場の方もそうですし、お越しになってくださっている方々もそうですし、久しぶりにみんなで盛り上げて、楽しみながら盛り上げていく音楽があってもいいんじゃないかと。

まさに今回のアリスの活動再開というのはちょうどよかったかなと思ったりするんですが。

ベーやん

今日は記者の方なんかも、僕らの年代よりいくぶんか。。30代ぐらい、そういう方が多いようで。

市川さん

ちょっと聞いてみましょうか。

今日ここにお越しの方で、70年代当時、アリスの生ライブを見たことがある方はどれぐらいおられますか？

ちんぺい

あらあ。。少ない。。

ベーやん

5人くらい

市川さん

だいたい。。死にましたかね(笑)。

ちんぺい

いやいやいや。(笑)

びっくりしましたね。

市川さん

レコードやCDとかでしかアリスを聴いたことがない方はどれぐらい。。

(大部分の記者が手を挙げる)

ちんぺい

やっぱり、そこが圧倒的ですねえ。

市川さん

すごい動いてるでしょ、世代が。

ちんぺい

動いてますねえ。。

本番に強いというベーやん ほんとは単なる心配性？

市川さん

あの～、我々は今(演奏を)観させていたいただいたんですが。。

非常に楽しそうに、なおかつ力みもはいつつ、すごかったねえ。

ベーやん

いや～、でもうまくいったよねえ。

リハーサルの時、市川さんも聴いていたと思うけど。。僕、高いところはもう出ないと。。

昨日、一昨日、みんなでリハーサルして、これはもう自信ないと思ってたけど、本番になったら出るねえ。



市川さん

出ますねえ。

火事場、すごいっすねえ。バカ力ちから。。(笑)

ちんぺい

あのねえ、出るっていうのはね。僕も矢沢もわかってます。

市川さん

あっ、そうだったんだ。

ちんぺい

堀内が心配性なんです。(笑)

ベーやん

一応、出ないようにみせながら。。

弱い自分を出しつつ。。本番に強さを発揮する。出るんです。

ちんぺい

出るんですよ。



再始動のきっかけになった 「音帰し」へのリクエスト曲

市川さん

今日、一曲やっていただいた「明日への讃歌」。

実はこの曲が今回の再始動のきっかけにもなったっていうことなんです。。

ちんぺい

そうなんですよ。

去年、谷村の「音帰し」というアルバムを作ろうとって、ファンの方にリクエストをいっぱいもらった中に、この「明日への讃歌」っていう曲、古い歌なんですけど、リクエストが多かったんですよ。これを「是非、アリス3人で聴きたい」って言われて。。それで二人に「どう？」って声をかけたら、「いいよお」って来てくれて実現したんです。

そっからいっきに、「60だし、そろそろ一発かまそうか」みたいな機運が。。何となく、まとまってきたっていう。